

第3章

4. 災害から命を守る情報収集①

副読本
24～25ページ

年 組 番 氏名

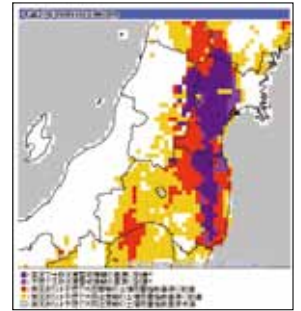
1

災害への備えとして日頃からどのような情報を得ておく必要があるかを書きましょう。

2

気象庁から提供されている災害発生危険を知らせる情報ではどのような内容が伝えられているかを調べましょう。

調べたサイト



防災気象情報と避難情報 (大雨で土砂災害や洪水による災害への警戒の必要がある場合)



予想される状況	気象庁が発表する防災気象情報	自治体が発令する避難情報	私たちがとるべき行動
約1日程度前, 大雨の可能性が高くなる	大雨に関する気象情報		気象情報・空の変化に注意
↓			最新の情報に注意して, 災害に備えた早めの準備を
半日～数時間前 大雨が降り始める	大雨注意報 災害が起こる恐れがある場合に発表		雨(浸水)や風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動
↓		避難準備情報	
強さ増す		→避難行動に時間がかかる人は避難開始	
↓		避難勧告	
数時間前～2時間程度前	大雨警報(土砂災害, 浸水害) 重大な災害が起こる恐れがある場合に発表	→通常の避難ができる人は避難開始	自治体が発令する避難情報に注意し, 必要に応じ速やかに避難
↓		避難指示	
大雨が一層激しくなる	土砂災害警戒情報 土砂災害の危険度が非常に高まったときに発表 〇〇川氾濫危険情報 氾濫危険水位に到達したときに発表	→まだ避難していない人は, すぐに避難	
↓			
広い範囲で数十年に一度の大雨	大雨特別警報(土砂災害・浸水害) 重大な災害が起こる恐れが著しく大きい場合に発表	特別警報の発表や避難勧告が発令済みであることを周知	ただちに命を守る行動をとる 避難場所へ避難するか, 外出することが危険な場合は家の中で安全な場所にとどまる